

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 29 号

第 29 週 (7 月 17 日 ~ 7 月 23 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 7月 28日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

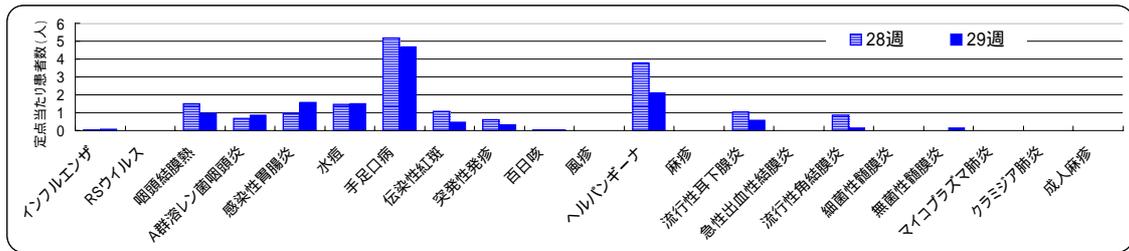
今週の感染症発生動向

手足口病の発生は草津で急増！
腸管出血性大腸菌感染症の発生は増加傾向

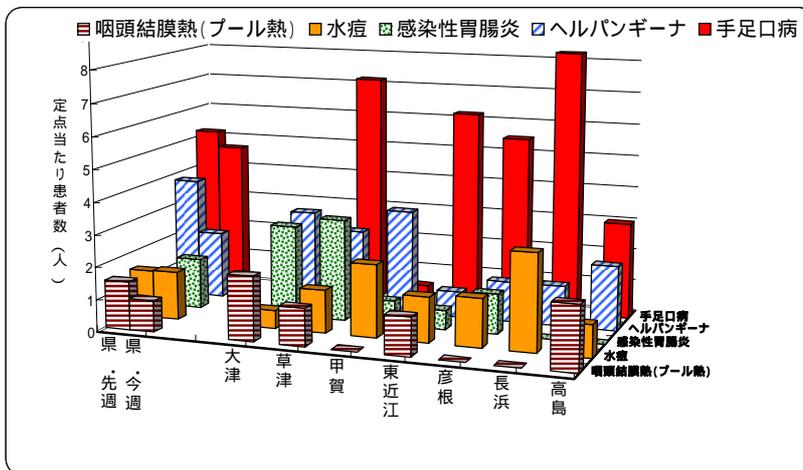
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(7月10日~7月16日)の報告数よりかなり少なくなっており、特に咽頭結膜熱およびヘルパンギーナで減少しています。増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等です。減少した疾患は咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等です。また、無菌性髄膜炎は長浜から報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の細菌性赤痢1名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名、四類感染症のアメーバ赤痢1名およびレジオネラ症1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



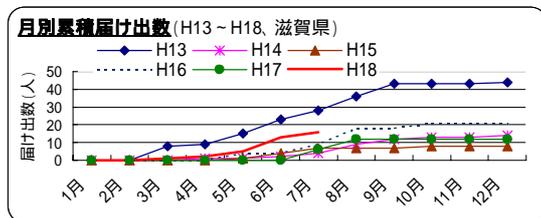
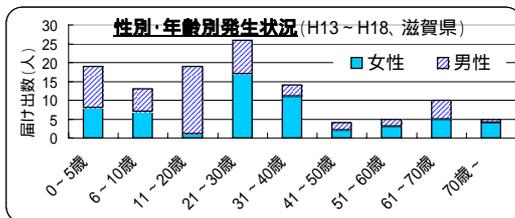
上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第29週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、水痘、咽頭結膜熱の順に多くなっています。手足口病は先週より減少していますが、草津で急増しています。また、感染性胃腸炎は大津および草津で増加しています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年第1週~平成18年第29週、H13.1.1~H18.7.23)

平成13年第1週~平成18年第29週における届け出数は115名で、男性57名および女性58名となっています。また、月別累積届け出数についてみると、平成18年7月現在において、平成13年に次いで多くなっています。今後も増加する可能性がありますので発生予防に対する十分な注意が必要です。なお、届け出数には患者および無症状病原体保有者を含みます。



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (29週)	全国 (29週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	1	^{(*)2} 4	223	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	47	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	1,289	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	40	0	40
	A型肝炎	0	2	227	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	23	1	73
	マラリア	0	0	33	0	66
	レジオネラ症	1	6	230	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	1	6	393	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	136	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	90	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	75	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	676	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	49	0	81
	梅毒	0	3	334	0	555
	破傷風	0	0	51	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	42	2	65
	急性脳炎	0	1	99	2	180

- *1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
 *3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第29週(7/17～7/23) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 3例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 11例
二類感染症: 細菌性赤痢 6例	ライム病 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
腸チフス 2例	レジオネラ症 7例	ウイルス性肝炎 4例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 125例	つつが虫病 2例	アメーバ赤痢 12例
	五類感染症: 破傷風 1例	ジアルジア症 1例
	梅毒 5例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.0となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第24週～29週、6/12～7/23)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)									
	24週	25週	26週	27週	28週	週				
	(6/12～)	(6/19～)	(6/26～)	(7/3～)	(7/10～)	25	26	27	28	29
インフルエンザ	0.80	0.16	0.26	0.06	0.02	0.08				
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0				
咽頭結膜熱	1.88	1.72	1.88	1.47	1.50	0.97				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	1.22	1.28	1.06	0.69	0.84				
感染性胃腸炎	2.31	1.50	1.03	1.09	0.97	1.56				
水痘	2.47	2.47	1.88	1.38	1.47	1.50				
手足口病	1.38	2.41	4.00	3.91	5.19	4.69				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.66	0.44	0.53	0.75	1.06	0.47				
突発性発しん	0.41	0.38	0.44	0.25	0.59	0.31				
百日咳	0	0	0	0	0.03	0.03				
風しん(三日はしか)	0.03	0.03	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	1.13	1.94	2.28	2.56	3.78	2.09				
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.53	0.88	0.72	0.72	1.03	0.56				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.29	0.57	1.00	0.71	0.86	0.14				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0				
成人麻しん	0	0	0	0	0	0				

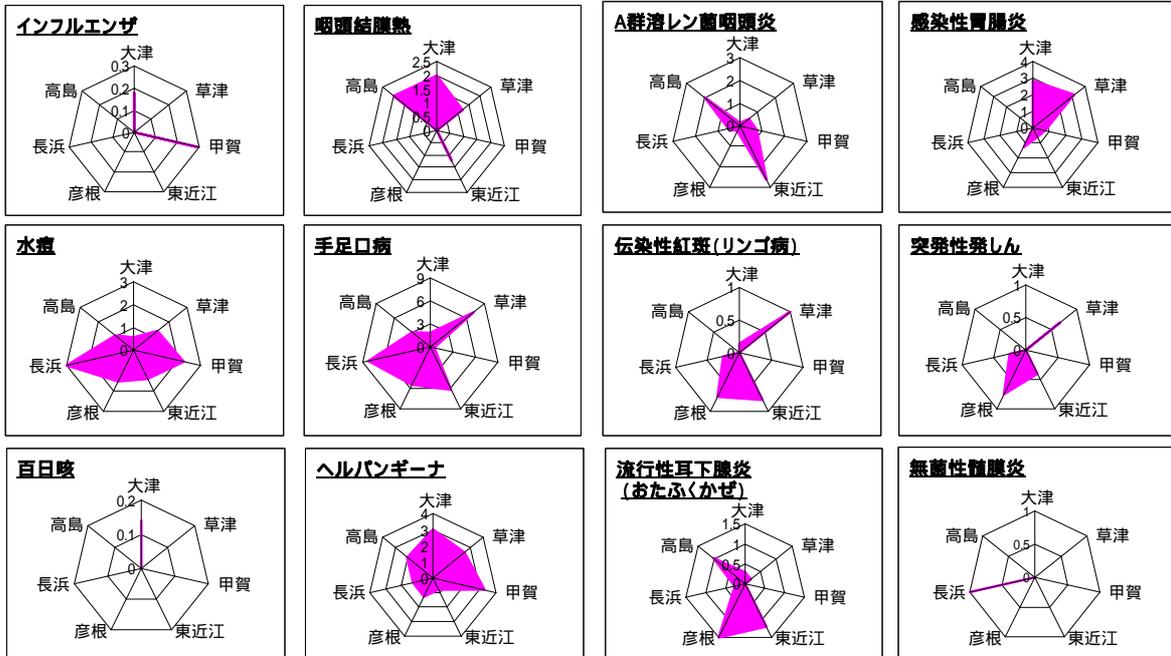
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第29週, 7/17~7/23)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.08	0.18	0	0.29	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.97	2.00	1.17	0	1.20	0	0	2.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.14	0.50	0.75	2.60	0.25	0.50	2.00	
感染性胃腸炎	1.56	2.86	3.17	0.75	0.60	1.25	0	0	
水痘	1.50	0.57	1.33	2.25	1.40	1.50	3.00	1.00	
手足口病	4.69	1.86	7.17	0.50	6.20	5.50	8.25	3.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0.14	1.00	0	0.80	0.75	0.25	0	
突発性発しん	0.31	0	0.67	0	0.40	0.75	0.25	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.09	3.00	2.50	3.25	0.80	1.25	1.25	2.00	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.56	0.29	0.17	0	1.20	1.50	0.25	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

緑線は定点当たり患者数が先週より増加、赤線は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 1 2 3 4 5
定点当たり患者数(人)

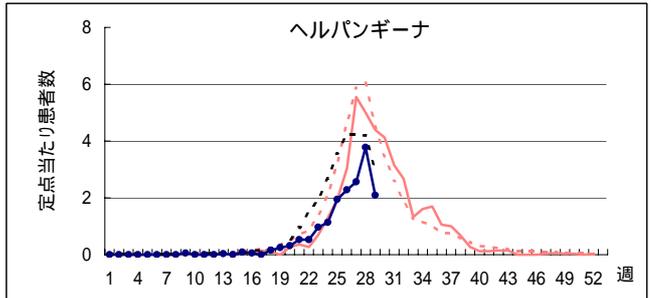
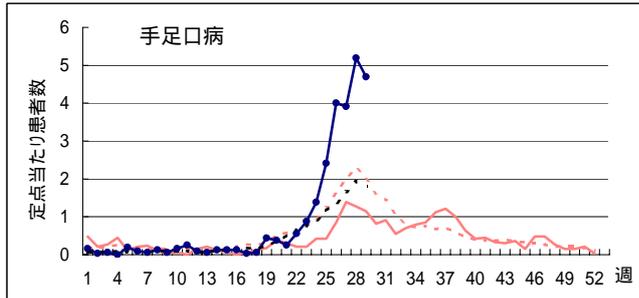
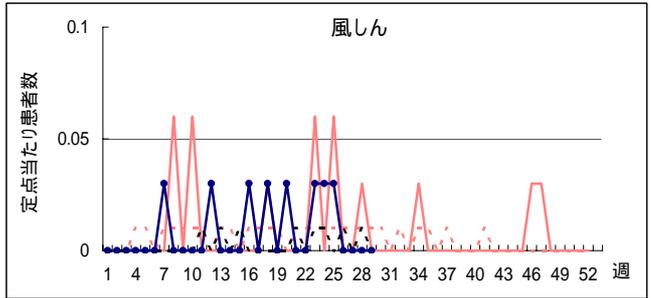
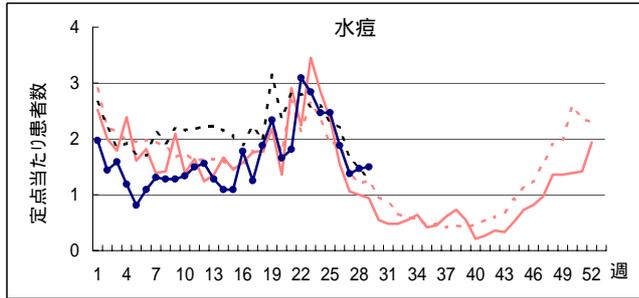
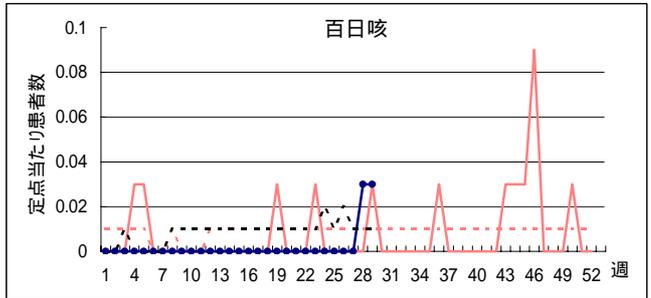
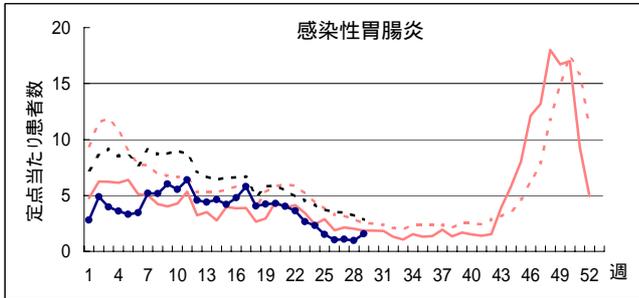
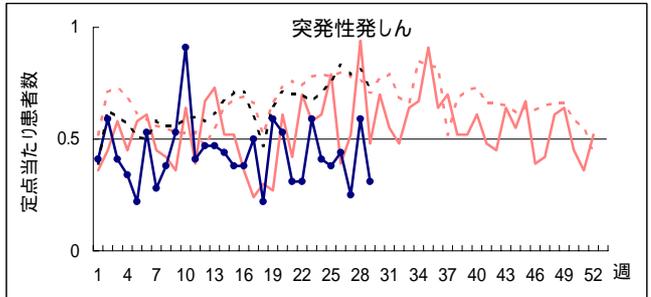
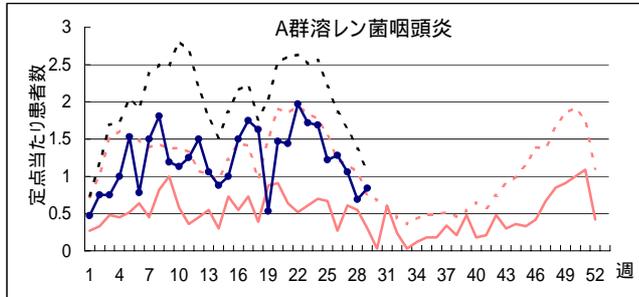
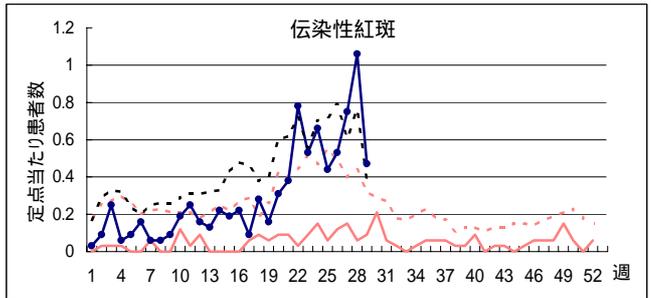
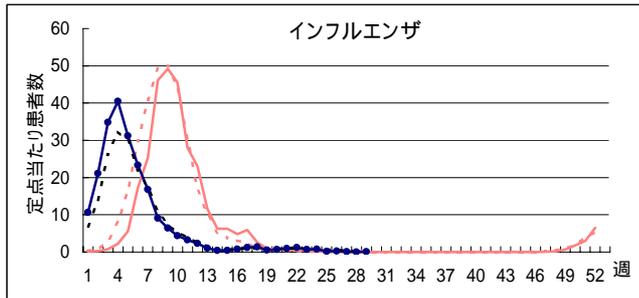
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----大津および甲賀から報告されています。
- 咽頭結膜熱-----大津では先週よりかなり減少していますが、草津、東近江および高島では先週よりやや増加しています。
- A群溶レン菌咽頭炎----東近江および高島でやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----大部分の保健所で先週よりやや多くなっています。
- 水痘-----甲賀および長浜でやや多くなっています。
- 手足口病-----第22週以降連続して増加していた長浜では先週よりかなり減少していますが、草津で先週より急増しています。
- 伝染性紅斑-----東近江以外で先週より少なくなっています。
- 百日咳-----大津から報告されています。
- 突発性発しん-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- ヘルパンギーナ-----県全体では先週よりかなり減少していますが、甲賀では急増しています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体としては先週より減少しています。
- 流行性角結膜炎-----草津から報告されています。
- 無菌性髄膜炎-----長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第29週、H18.1.2～H18.7.23)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第29週、H18.1.2～H18.7.23)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

